

2022年度

一般選抜C日程

日本史B

[60 分]

【問題1】 国風文化に関する次の文章を読んで、下の問い（問1～問10）に答えなさい。

10～11世紀になると、唐風文化を踏まえ、これに日本人の人情と嗜好を加味した優雅で洗練された文化が生まれた。このような②摂関政治が行われた時代の頃に栄えた文化を国風文化という。

国風文化の時代には和歌が盛んになった。905年に⑥醍醐天皇の命で最初の勅撰和歌集③『古今和歌集』が編纂された。『古今和歌集』は在原業平の和歌を収載しているが、は在原業平を主人公とした歌物語である。

には「此の世をば我が世とぞ思ふ望月の かけたることも無しと思へば」という藤原道長の歌が収載されており、摂関家が朝廷で権勢をふるった様子を伝えている。『源氏物語』は美男の宮廷貴族、光源氏の女性遍歴を描いた長編小説であるが、これは藤原道長の娘である中宮に仕えた紫式部の著作である。このほか④一条天皇の皇后定子に仕えた清少納言は宮廷生活の体験を基に随筆集『枕草子』を著した。

美術工芸の面でも国風化が進み、貴族の住宅は⑤寝殿造と呼ばれる日本風のものになった。平安時代の摂関家の邸宅、東三条殿は寝殿造の代表例である。寝殿造の内部は襖や屏風で仕切られ、これらには日本の風俗や自然風景を題材とした⑦大和絵も描かれた。

問1 下線部②の「摂関政治」に関連して、摂政に関する記述として最も適切なものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。

- ① 摂政とは天皇が幼少または病気などの際に、代わって政務を執る代行者である。
- ② 摂政は大宝令により、臣下の最高位と規定された。
- ③ 阿衡の紛議の後、宇多天皇は藤原基経を摂政に任じた。
- ④ 皇族以外では、藤原仲麻呂が初めて摂政に任じられた。

問2 下線部②の「摂関政治」に関連して、当時の日本を統治した天皇と、天皇を支えた摂政または関白の組み合わせとして最も適切なものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。

- ① 清和天皇・藤原時平 ② 光孝天皇・藤原冬嗣
- ③ 後一条天皇・藤原頼通 ④ 後三条天皇・藤原実頼

問3 下線部⑥の「醍醐天皇」が実施した親政として最も適切なものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。

- ① 貞観の治 ② 寛平の治 ③ 延喜の治 ④ 開元の治

問4 下線部㉔の『古今和歌集』に収載されている和歌の作者として誤っている人物を、次の①～④のうちから一つ選びなさい。

- ① 紀貫之 ② 小野小町 ③ 遍昭 ④ 藤原定家

問5 にあてはまる語として最も適切なものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。

- ① 『宇津保物語』 ② 『土佐物語』 ③ 『落窪物語』 ④ 『伊勢物語』

問6 にあてはまる語として最も適切なものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。

- ① 『御堂関白記』 ② 『小右記』 ③ 『白氏文集』 ④ 『文華秀麗集』

問7 にあてはまる語として最も適切なものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。

- ① 彰子 ② 詮子 ③ 威子 ④ 妍子

問8 下線部㉕の「一条天皇」の摂政と関白を務め、定子の父親である人物として最も適切なものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。

- ① 藤原兼家 ② 藤原兼通 ③ 藤原道隆 ④ 藤原伊周

問9 下線部㉖の「寝殿造」の特徴として誤っているものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。

- ① 白木造 ② 付書院 ③ 檜皮葺 ④ 対屋

問10 下線部㉗の「大和絵」に関連して、1053年に作られたとされる大和絵として最も適切なものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。

- ① 平等院鳳凰堂扉絵 ② 花下遊楽図屏風
③ 高雄観楓図屏風 ④ 紫式部日記絵巻

【問題2】中世の政治に関する次の文章を読んで、下の問い（問1～問10）に答えなさい。

鎌倉幕府は、③承久の乱後、④北条政子が死去するなどして、新たな局面を迎えた。⑤北条泰時は、1225（嘉禄元）年、の補佐役であるを設け、さらに同年、11人の御家人からなる評定衆を設置した。評定衆は、・とともに、幕府意思決定の最高機関でもある評定を構成し、訴訟の裁決にも携わった。また、泰時は、武家の基本法典として、⑥御成敗式目を制定するなど、執権政治の確立につとめた。

泰時の執権政治を継承し、発展させたのは、⑦北条時頼である。時頼は、⑧1249（建長元）年、裁判の公平・迅速をはかるために、評定衆のもとに、文書の審理と訴訟の実務にあたる引付衆を任命した。さらに、時頼は、1252（建長4）年、摂家将軍の藤原頼嗣を廃し、皇族将軍として、の皇子を将軍として迎えた。以後、親王によって4代続く将軍は、いずれも実権はなく名目だけの将軍にすぎなかった。こうして、時頼によって、執権政治は強化された。

問1 下線部③の「承久の乱」に関する次の記述Ⅰ～Ⅲについて、その正誤の組み合わせとして最も適切なものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。

- Ⅰ 承久の乱とは、1221年、後鳥羽上皇が北条時政追討の院宣を発し、倒幕を図った兵乱である。
- Ⅱ 承久の乱後、上皇方から没収した所領に対して、新たに補任された地頭を新補地頭という。
- Ⅲ 承久の乱後、幕府は仲恭天皇を廃し、後堀河天皇を即位させた。

- ① Ⅰ—正 Ⅱ—正 Ⅲ—誤
- ② Ⅰ—正 Ⅱ—誤 Ⅲ—誤
- ③ Ⅰ—誤 Ⅱ—正 Ⅲ—正
- ④ Ⅰ—誤 Ⅱ—誤 Ⅲ—正

問2 下線部④の「北条政子」に関する記述として誤っているものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。

- ① 時政は政子の父であり、源頼家は頼朝・政子の長男である。
- ② 頼朝死後に出家し、尼となって幕府政治を主導したことから、尼将軍とよばれた。
- ③ 宋から蘭溪道隆を招いて、鎌倉に寿福寺を創建した。
- ④ 承久の乱の際、動揺する御家人に対し、頼朝の恩を示して団結を訴えた。

問3 下線部㉔の「北条泰時」が北条時房とともに初代をつとめた探題として最も適切なものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。

- ① 鎮西探題
- ② 長門探題
- ③ 奥州探題
- ④ 六波羅探題

問4 下線部㉔の「北条泰時」の父義時によって滅ぼされた和田義盛が、1213年当時つとめていたものとして最も適切なものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。

- ① 京都守護職
- ② 侍所別当
- ③ 政所別当
- ④ 問注所別当

問5 に入る語句の組み合わせとして最も適切なものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。

- ① アー執権 イー連署
- ② アー連署 イー執権
- ③ アー執権 イー得宗
- ④ アー得宗 イー執権

問6 下線部㉔の「御成敗式目」に関する記述として最も適切なものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。

- ① 御成敗式目が制定されて間もなく、公家法や本所法は全く効力を失った。
- ② 御成敗式目によって、頼朝以来の先例や武家社会の道理は、すっかり廃された。
- ③ 51カ条からなる御成敗式目は、1232年に制定されたが、制定時の元号から、建武式目ともいう。
- ④ 泰時は、弟の重時にあてた書状にて、式目制定の趣旨を記している。

問7 下線部㉔の「北条時頼」が1247年に滅ぼした有力御家人として最も適切なものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。

- ① 梶原景時
- ② 三浦泰村
- ③ 安達泰盛
- ④ 比企能員

問8 下線部㉔の「北条時頼」が1260年に献呈された典籍(X)と、その著者(Y)の組み合わせとして最も適切なものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。

- ① X—興禅護国論 Y—栄西
- ② X—興禅護国論 Y—日蓮
- ③ X—立正安国論 Y—栄西
- ④ X—立正安国論 Y—日蓮

問9 下線部㉔に関連して、13世紀中頃、鎌倉で訴状を受理した機関として最も適切なものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。

- ① 問注所
- ② 武者所
- ③ 雑訴決断所
- ④ 記録所

問10 に入る語句の組み合わせとして最も適切なものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。

- ① ウ—後醍醐天皇 エ—宗尊親王
- ② ウ—後醍醐天皇 エ—護良親王
- ③ ウ—後嵯峨上皇 エ—宗尊親王
- ④ ウ—後嵯峨上皇 エ—護良親王

【問題3】徳川吉宗の政治改革に関する次の文章を読んで、下の問い（問1～問10）に答えなさい。

徳川家康以来の宗家（本家）は、7代将軍 が8歳で死去したことで途絶えた。紀伊藩主であった徳川吉宗は8代将軍に就くと様々な改革に取り組んだ。

改革を進めるにあたって、吉宗は、5代将軍 以来の①側用人による側近政治をやめ、将軍の意思を幕政に反映させるための職として御用取次を設けた。そして、②政策実施のために有能な人材を多く登用した。

吉宗の改革の中心は、幕府の財政再建であった。まず、③統発する金銀貸借についての争いについては、幕府に訴えさせずに当事者間で解決させるようにした。また、支出をおさえる命令を出す一方で、大名に対しては参勤交代の負担をゆるめるかわりに④米を臨時に上納させた。農民に対しては、幕府の収入を増やすために⑤年貢率を上げる一方で、幕領の代官らの不正を徹底的に摘発した。さらに、幕領で商品作物を生産し、畑地からの年貢増収をめざすとともに、商人資本の力を借りることで新田開発も進め、米の増産をはかった。

これらの改革によって、幕府は1割以上石高が増加し、年貢収入も増大した。財政の改善を達成した吉宗は、次いで武家の財政を保つために米価の平準化をはかり、⑥新たな農作物の栽培も奨励した。

吉宗が取り組んだもう一つの改革の柱は江戸の都市政策であった。明暦の大火以降も大火に見舞われた江戸に防火施設を設け、⑦定火消を中心としてきた消火制度の強化策として町火消を組織した。また、吉宗の貧民を対象とする⑧医療施設の設置は、庶民の意見を聞くために評定所に置かれた目安箱への投書がきっかけであった。

その他にも、国家制度を充実させるために、判例にもとづく合理的な司法判断を進め、幕府が出す触れの編纂・記録を幕府事業として定着させた。また、徳川将軍家の安定をはかるために、自身の次男と四男にそれぞれ⑨田安家・一橋家をおこさせたが、その一橋家から江戸幕府最後の将軍を出すことになった。

問1 ・ に入る人名の組み合わせとして最も適切なものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。

- | | | | | |
|---|---|----|---|----|
| ① | ア | 家継 | イ | 家治 |
| ② | ア | 家継 | イ | 綱吉 |
| ③ | ア | 家綱 | イ | 家治 |
| ④ | ア | 家綱 | イ | 綱吉 |

問2 下線部㉔の「側用人」として誤っているものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。

- ① 田沼意次
- ② 松平信綱
- ③ 間部詮房
- ④ 柳沢吉保

問3 下線部㉕に関連して、徳川吉宗に登用された人物として誤っているものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。

- ① 新井白石
- ② 大岡忠相
- ③ 荻生徂徠
- ④ 田中丘隅

問4 下線部㉖の命令として最も適切なものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。

- ① 相对済し令
- ② 棄捐令
- ③ 薪水給与令
- ④ 服忌令

問5 下線部㉗の制度を説明する文として最も適切なものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。

- ① この制度が廃止された後も参勤交代の負担軽減は続けられた。
- ② この制度によって、大名は石高1万石について10石を幕府に収めなければならなかった。
- ③ この制度のことを「上げ米」という。
- ④ この制度は吉宗が日光社参を行った1728年に廃止された。

問6 下線部㉘に関連して、年貢率を引き上げるために用いた徴収方法として最も適切なものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。

- ① 寄生地主制
- ② 均田制
- ③ 検見法
- ④ 定免法

問7 下線部①に関連して、吉宗が特に栽培を奨励した農作物として誤っているものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。

- ① 甘藷
- ② さとうきび
- ③ たまねぎ
- ④ 朝鮮人参

問8 下線部②に関連して、江戸の消火体制について説明する次の文Ⅰ～Ⅲについて、その正誤の組み合わせとして最も適切なものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。

- Ⅰ 大名が設置した火消役である大名火消は、幕府の若年寄の指揮下に置かれた。
- Ⅱ 定火消とは、幕府に命じられた旗本が火消人足を指揮する火消役で、明暦の大火の翌年に創設された。
- Ⅲ 町火消とは、町奉行大岡忠相によって設置された火消役で、結成された当初は町方に47組の火消組合があった。

- ① Ⅰ－正 Ⅱ－正 Ⅲ－正
- ② Ⅰ－正 Ⅱ－誤 Ⅲ－誤
- ③ Ⅰ－誤 Ⅱ－正 Ⅲ－正
- ④ Ⅰ－誤 Ⅱ－誤 Ⅲ－誤

問9 下線部③の「医療施設」として最も適切なものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。

- ① 小石川養生所
- ② 種痘所
- ③ 施薬院
- ④ 典薬寮

問10 下線部④に関連して、田安家と一橋家は将軍後嗣不在の際に将軍を継ぐ3家（三卿）のうち2家であるが、あと一つの家として最も適切なものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。

- ① 清水家
- ② 土井家
- ③ 保科家
- ④ 水野家

【問題4】 次の史料を読んで、下の問い（問1～問10）に答えなさい。（史料は、一部省略したり、書き改めたりしたところもある。）

ア の㉔ 蛮勇演説

㉔ 此何回ノ役ヲ経過シテ来タ デアッテ、今迄此 ヲ汚シ、 ノ名誉ヲ損ジタ事ガアルカ。却テ ヲ拡張シ ノ名誉ヲ施シタ事ハ幾度カアルダラウ。
 ノ人民モ其位ノ事ハ御記憶デアルダラウ。先日井上角五郎君ガ ノ人民ハ ノ眼ガアルト云フタ。 ノ人民デ今日幾分カ不具ノ人ガアルト見テモ、千万人ノ眼ハアルダラウ。其眼ヲ以テ見タナレバ、今日 ヲ今ノ如キ事ニ見テ居ル人ガアルデアラウカ。（アルアルト呼ブ者アリ）此ノ如ク今日此 ノミナラズ、即チ現政府デアアル。
㉕ 現政府ハ此ノ如ク内外国家多難ノ艱難ヲ切抜ケテ、今日迄来タ政府デアアル。㉖ 薩長政府トカ何政府トカ言ッテモ、今日国ノ此安寧ヲ保チ、 ノ生靈ニ関係セズ、安全ヲ保ツタト云フコトハ、誰ノ功力デアアル。（笑声起ル）甚ダ……御笑ニ成ル様ノ事デハゴザイマスマイ。

（㉕ 帝国議会 ㉖ 衆議院議事速記録）

問1 に入る語句として最も適切なものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。

- ① 樺山資紀
- ② 品川弥二郎
- ③ 尾崎行雄
- ④ 片岡直温

問2 下線部㉔の「蛮勇演説」は第二議会でなされたが、その時の首相として最も適切なものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。

- ① 伊藤博文
- ② 黒田清隆
- ③ 山県有朋
- ④ 松方正義

問3 下線部㉔に関連して、甲申事変の説明として最も適切なものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。

- ① 1884（明治17）年に釜山で起こった事変である。
- ② 独立党が日本公使と結んでクーデターを起こし、事大党を追放した。
- ③ 日本と朝鮮の間で「日朝修好条規」が調印され結着した。
- ④ 甲申事変の処理策として、日本と清国の間で北京議定書が調印された。

問4 に入る語句として最も適切なものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。

- ① 陸軍
- ② 殖産興業
- ③ 海軍
- ④ 文明開化

問5 に入る語句として最も適切なものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。

- ① 国権
- ② 主権
- ③ 民権
- ④ 大権

問6 ・に入る語句の組み合わせとして最も適切なものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。

- ① ウ：二千万 エ：四千万
- ② ウ：三千万 エ：六千万
- ③ ウ：四千万 エ：八千万
- ④ ウ：五千万 エ：一億

問7 下線部◎に関連して、次のⅠ～Ⅲについて、古いものから年代順に正しく配列したものとして最も適切なものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。

- Ⅰ. 沖縄県の設置（琉球処分）
- Ⅱ. 樺太・千島交換条約
- Ⅲ. 国会開設の勅諭

- ① Ⅰ—Ⅱ—Ⅲ
- ② Ⅰ—Ⅲ—Ⅱ
- ③ Ⅱ—Ⅰ—Ⅲ
- ④ Ⅱ—Ⅲ—Ⅰ

問8 下線部㉔に関連して、薩摩もしくは長州出身の首相として誤っているものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。

- ① 山本権兵衛
- ② 田中義一
- ③ 桂太郎
- ④ 原敬

問9 下線部㉕の「帝国議会」の説明として誤っているものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。

- ① 大日本帝国憲法下における最高立法機関であった。
- ② 種々の制限が設けられた議会の権限は弱く、協賛機関であった。
- ③ 衆議院と貴族院の二院制であった。
- ④ 1945（昭和20）年に開かれた第九二議会まで存続した。

問10 下線部㉖に関連して、1889（明治22）年に発布された際の衆議院議員選挙法の内容として誤っているものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。

- ① 定員1名原則の小選挙区制であった。
- ② 議員定数は465名であった。
- ③ 議員の任期は4年であった。
- ④ 被選挙人は直接国税15円以上を納める30歳以上の男性とされた。